



ぜん息といわれたら、どのように治療が進められていくのでしょうか？

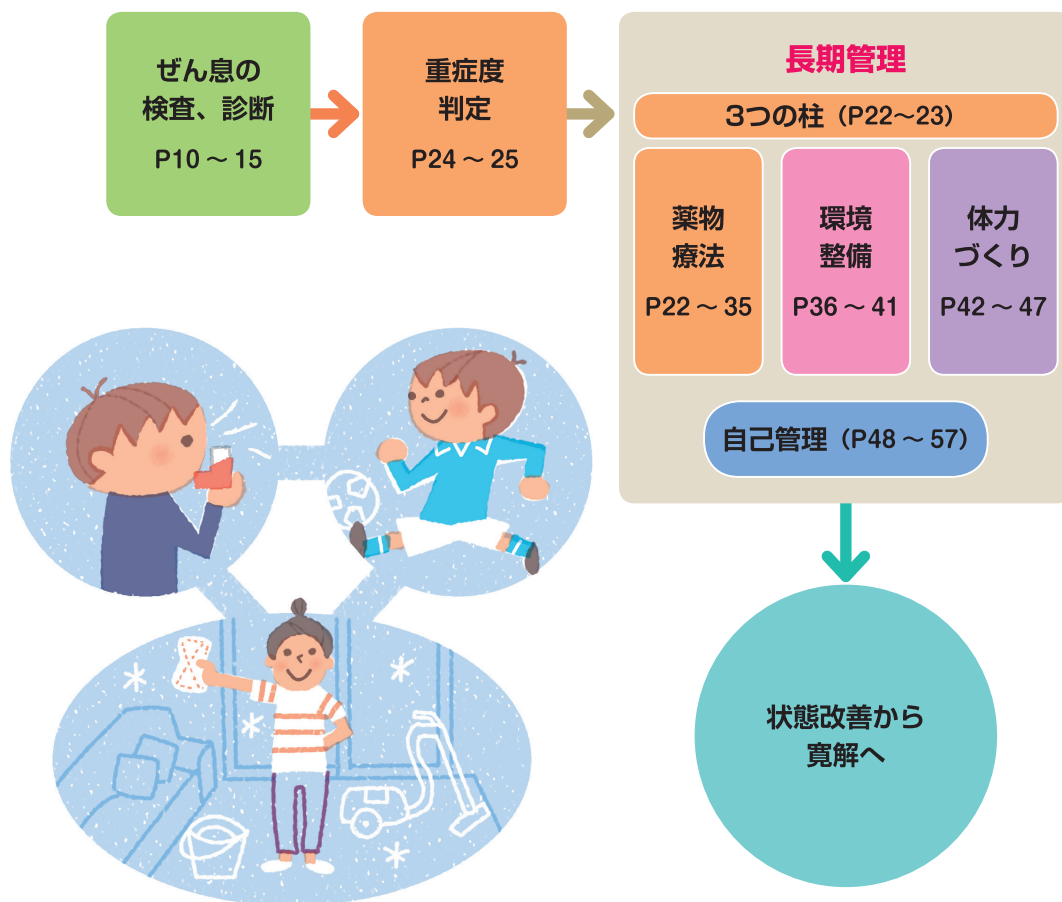


気道の炎症を抑えて発作を予防する「長期管理」が進められていきます。

ぜん息の治療は、発作が起きないようにぜん息をコントロールすることを目標に、長期管理が進められていきます。

ぜん息の長期管理で的確な薬物療法を行っていくために、まずは症状、検査に基づき重症度を正しく判定することが大切です。また、ぜん息の長期管理はともすると薬物療法が主体になりがちですが、薬物療法と同時に、発作の原因となるアレルゲンを生活のなかからとり除く「環境整備」や、からだの抵抗力をつける「体力づくり」といった日常の管理も合わせて行うことも大切です。

小児ぜん息の検査、診断から長期管理まで



ぜん息とは
どんな病気？

ぜん息の
検査と診断

ぜん息発作が
起きたときの対応

ぜん息発作を
起こさないための
薬物療法

環境整備を
しましょう

運動誘発ぜん息と
の運動
のための

ぜん息の
自己管理のポイント

学校(園)生活での
注意点